

2025年度 スポーツバイオメカニクス研究室 論文発表会

- ◆ 日 時： 2026年2月14日（土）13：00～
- ◆ 場 所： 5C301教室
- ◆ 発表形式： 学群3年生（ミニ卒論） 発表 7分，質疑 3分
 学群4年生（卒業論文） 発表 10分，質疑 5分
 博士前期課程（修士論文） 発表 15分，質疑 5分
 博士後期課程（博士論文） 発表 15分，質疑 5分



No.	Time	Name	Title
Session I : ミニ卒論の部			座長：MC1 安本
1	13：00	山本 和希	打撃の振り出し時における回転半径の違いが両足の地面反力成分に及ぼす影響
2	13：11	古川 滉人	ハンドボールのステップシュートにおける投球動作のバイオメカニクス分析 パフォーマンスに寄与する動作要因の解明
3	13：22	森 球道	野球の打撃動作における骨盤回旋速度ピークとバットヘッド速度ピークの 時間的關係がバットヘッド速度に及ぼす影響
4	13：33	山田 優斗	バックステップからの方向転換のバイオメカニクスの動作分析
5	13：44	田中 雅崇 (ビデオ)	フットオリエンテーリングのスプリント競技中における読図走下での 走速度維持のバイオメカニクスの研究
6	13：52	川崎 颯 (ビデオ)	筋運動感覚残効が走動作に与える影響について
13：59～14：09 休憩 (10 分)			
Session II : 卒論の部			座長：MC1 今村
7	14：09	岡本 桜介	「カエルの足打ち」におけるトレーニング効果のバイオメカニクスの分析
8	14：25	加藤 大喜	野球のティー打撃におけるコンタクト能力のバイオメカニクスの分析
9	14：41	鎌田 晃介	ドライバーにおけるシャフト重量差が打球距離に及ぼす影響
9	14：57	武智 泰暁	球速及び変化量の異なるスライダーにおける投球動作の違い
10	15：13	鏑 颯人	トレッドミル走における股関節筋の筋活動タイミング変化および その酸素摂取量動態との関係
11	15：29	中本 唯愛	バレーボールのスパイクジャンプにおける ジャンプ高獲得のためのバイオメカニクス
12	15：45	樋口 彪斗	跳躍高及び負荷重量の増加が反動付き垂直跳び中の筋協調に与える影響
16：00～16：10 休憩 (10 分)			
Session III : 修論の部			座長：MC1 豊島
13	16:10	大坂 隆太郎	横方向への素早い移動運動を可能にする 準備姿勢および初期動作のバイオメカニクスの要因
14	16:31	品部 由乃	Biomechanical Comparison between Aerial and Grounded Overarm Motions
15	16:52	寺山 由起	テニスのフラットサーブにおける速度と正確性の両立に関する バイオメカニクスの研究
16	17:13	津幡 葉月	走運動における左右接地脚の側方距離を決定する身体的・動作的要因
17	17:34	保母 純伽	In vivo strain of the human plantar fascia during locomotion and its dependence on material properties
Session IV : 博論の部			座長：MC1 田崎
18	17:55	富永 天平	Lumbar spine motion and its functional significance in relation to pelvic motion during human running across a wide range of speeds
19	18:16	藤森 俊秀	Biomechanical Determinants of Performance Across Scales from Whole Body to Muscle-Tendon Units in Jumping
閉会式 18：40 頃 終了予定			